

## 低炭素関連装置 運用細目

装置名	高電圧デバイス測定システム
設置場所	早稲田大学ナノ理工学研究機構 3階303号室
装置管理者	関口哲志
取扱責任者	関口哲志

### 1 パワーユーザの必要要件、権限範囲

- (1) パワーユーザとは、装置の停止、立ち上げ、一般管理（記録、備品準備など）等について取扱い責任者と同等の技量を持ち、かつ、精密装置の操作に適した感性、几帳面さを持つ者である。
- (2) パワーユーザは、各研究室で1名決める。パワーユーザを決めることができない研究室は、他研究室のパワーユーザが兼務しても可（事前に依頼すること）。
- (3) パワーユーザは、取扱責任者の講習を受け、合格した者とする。
- (4) パワーユーザは、一般利用者の補助・講習を行う。

### 2 一般利用者の定義について

- (1) 一般利用者はパワーユーザから講習をうけ、合格したのち取扱い責任者が承認した者とし、本定義に従う一般利用者のみ当該装置を利用可とする。
- (2) 一般利用者は高電圧デバイス測定システムを十分に操作できる知識と経験を有する者とする。
- (3) 学外からの利用依頼に関する各種事務手続きは、まずナノ理工学研究機構で対応する。

### 3 利用制限、禁止行為について

- (1) 本装置による高電圧プロテクトの解除など特殊な操作は禁止する。また、付属配線ケーブルの加工等は禁止し、加工等が必要な場合は利用者各人ごとに別途購入したものを利用する。また、使用後は必ず元の配線に戻しておくこととする。

備考：プローブ針、配線ケーブル、真空装置などシステム稼動にかかわる備品を一部でも破壊（もしくは紛失）した際は、各研究室で迅速復旧を行うこと。また消耗品は適宜、研究費で購入し利用すること。ナノ理工学研究機構ではこれらの補充は行わない。